

江戸時代に金銀鉱石を含む山を断ち割った露頭掘り(鉱脈が露出した部分に沿って、鉱脈だけを堀り採る採掘方 どうゆうのおれと 道遊の割戸 法)の跡で、佐渡金銀山の象徴。



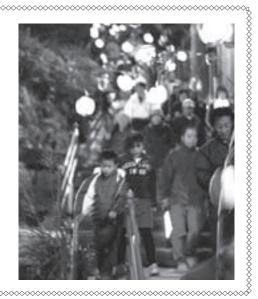
西三川砂金山遺跡 砂金が採掘された虎丸山と笹川集落



鶴子銀山に残る間歩(坑道)跡

喜びのちょうちん行列

9月26日、「金と銀の島、 佐渡 一鉱山とその文化一」 の世界遺産暫定一覧表記載 を祝って、ちょうちん行列 が行なわれました。行列は 佐渡金山駐車場をスタート すると、大工町~京町通~ 羽田町~相川公園を練り歩 き、ちょうちんを手にした 約200人の参加者は、喜び 合っていました。



鉱山開発に多大な影響を与えた鉱山遺跡 階における金銀生産の機構や鉱山と関連 する土地利用の諸要素が残されている資 金銀生産システムを確立させ、 した採掘・精錬の技術をもとに 佐渡の金銀山は、 16世紀から20世紀の各段 石見銀山から導入 国内外の

16世紀に大陸からもたらされ、 石見銀

> 遺跡とその文化的景観」との組合せによ いとされています。 覧表にすでに記載されている「石見銀山 が良好に遺存することから、 せた拠点的鉱山であり、 産機構に組み込み、 伝播を通じて日本の鉱山開発を発展さ 顕著な普遍的価値を持つ可能性が高 国内各地の鉱山 関連する諸要素 世界遺産一

山に根付いた